

## 一般社団法人日本老年歯科医学会 平成 27 年度事業報告書

一般社団法人日本老年歯科医学会は、会員相互および国内外の関連学会との連携協力を行うことにより、会員の老年歯科医学に関わる研究ならびに知識の普及に貢献するとともに、それにより高齢者の保健・医療の進歩・発展を図り、もってわが国の学術の発展と国民の福祉に寄与するため、以下の事業を実施した。

### 1. 学術大会、その他各種学術集会の開催

#### (1) 第 26 回学術大会

日 時：平成 27 年 6 月 12 日（金）～14 日（日）

場 所：パシフィコ横浜

大会長：羽村 章（日本歯科大学生命歯学部高齢者歯科学）

- 老年学会・会長講演：「健康長寿とライフスタイル」  
井藤 英喜（東京都健康長寿医療センター）
- 老年学会・特別講演：「超高齢社会の街づくり」  
辻 哲夫（東京大学高齢社会総合研究機構）
- 老年学会・招請講演：  
「Caloric Restriction Mimetics ; Most Promising Anti?aging Strategy」  
George S. Roth（Chief Executive Officer, GeroScience Inc.）
- 老年学会・シンポジウム 1：「新しい高齢者の定義」  
「国内外の高齢者の定義と関連する調査研究」  
荒井 秀典（国立長寿医療研究センター）  
「老年疾患の時代推移；有病率は高齢期へシフトしているか」  
秋下 雅弘（東京大学加齢医学講座）  
「日本の高齢者の定義を再考する」  
鈴木 隆雄（国立長寿医療研究センター研究所）  
「心理的機能に関する加齢効果の経年比較」  
内藤佳津雄（日本大学文理学部心理学研究室）  
「社会的老化の経時的データ」  
古谷野 亘（聖学院大学人間福祉学部）  
「歯数から見た高齢者の定義；歯数は歳を表すか」  
那須 郁夫（日本大学松戸歯学部公衆予防歯科学）
- 老年学会・シンポジウム 2：「認知症予防の新展開」  
「認知症予防の最前線」朝田 隆（筑波大学精神医学）  
「食品・栄養の視点からの認知症予防」山田 正仁（金沢大学脳老化・神経病態学）  
「生活習慣病からみた認知症予防」羽生 春夫（東京医科大学高齢総合医学講座）  
「久山町研究からみた認知症予防」小原 知之（九州大学精神病態医学）  
「非薬物療法（特に運動）の視点からの認知症予防」  
島田 裕之（国立長寿医療研究センター生活機能賦活研究部）
- 特別講演：「食べる，老いる，生きる」  
北方 謙三（小説家）
- 合同シンポジウム 1：  
「高齢者の食を支えるために；オーラルフレイルの概念を討議する」  
飯島 勝矢（東京大学高齢社会総合研究機構）  
鳥山 佳則（厚生労働省医政局歯科保健課）  
金 憲経（東京都健康長寿医療センター研究所）  
渡邊 裕（国立長寿医療研究センター研究所）
- 合同シンポジウム 2：「超高齢社会におけるフレイルを考える」

- 河野あゆみ（大阪市立大学大学院看護学研究科）  
井原 一成（東邦大学医学部社会医学講座／公衆衛生学）  
新開 省二（東京都健康長寿医療センター研究所）  
菊谷 武（日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション多摩クリニック）  
重本 和宏（東京都健康長寿医療センター研究所）  
白木 裕子（一般社団法人日本ケアマネジメント学会理事）  
荒井 秀典（独立行政法人国立長寿医療研究センター）
- 合同シンポジウム3：「終末期医療における多職種連携」  
石垣 泰則（城西神経内科クリニック）  
岩佐 康行（原土井病院）  
川上嘉明（東京有明医療大学看護学部看護学科）  
島田千穂（東京都健康長寿医療センター研究所）
- 合同シンポジウム7：  
「食べることにまつわる意思決定支援；代理者としての家族の価値観と選択から考える」  
植村 和正（名古屋大学大学院医学系研究科総合教育学）  
野原 幹司（大阪大学歯学部）  
山下 由香（東大田訪問看護ステーション）
- 合同シンポジウム8：  
「高齢患者に対する周術期口腔機能管理を考える；今後の課題と取り組み」  
海老原 覚（東邦大学医学部）  
村松 真澄（札幌市立大学看護学部）  
松尾浩一郎（藤田保健衛生大学医学部）  
渡邊 理沙（藤田保健衛生大学病院歯科・口腔外科）
- シンポジウム1：「健康長寿社会のために歯科はどのように関与できるか」  
井上美津子（昭和大学歯学部）  
和泉 雄一（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科）  
池邊 一典（大阪大学大学院歯学研究科）
- 歯科衛生士シンポジウム：  
「とびだそう！在宅へ；在宅療養を支える歯科衛生士のあり方を考える」  
鷺見よしみ（日本介護支援専門員協会）  
山本 徹（医療法人社団永生会）  
中村 育子（医療法人福寿会福岡クリニック）  
家崎 芳恵（野村訪問看護ステーション）
- 教育講演1：「第66回保健文化賞受賞記念：超高齢社会に必要な歯科医療のあり方」  
米山 武義（米山歯科クリニック）
- 教育講演2：  
「Issues and Challenges in Managing Patients with Dementia and Dysphagia」  
Michael Groher  
(University of Redlands, Truesdail Center for Communicative Disorders)
- 国際セッション：「エイジングと食への対応；高齢者歯科からの未来戦略」  
Michael Groher  
(University of Redlands, Truesdail Center for Communicative Disorders)
- 植田耕一郎（日本大学歯学部）  
余 權航（中山医学院口腔病学）  
田村 文誉（日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科）
- 課題口演：「フレイルと口腔機能」「回復期の口腔機能」
- 若手の会シンポジウム：「10年後の歯科を見据えて」  
大平 貴士（厚生労働省医政局歯科保健課）

- 尾崎 由衛 (済生会八幡総合病院歯科)  
 小谷 泰子 (医療法人美和会平成歯科クリニック)  
 飯田 良平 (鶴見大学歯学部)
- Meet the professor 1 : 「高齢患者への口腔外科処置の勘どころ」  
 山根 源之 (東京歯科大学名誉教授)
- Meet the professor 2 : 「総義歯治療の勘どころ」  
 早川 巖 (早川歯科医院)
- ランチョンセミナー 2 : 「口腔ケアの均てん化」  
 松尾浩一郎 (藤田保健衛生大学 医学部歯科)
- ランチョンセミナー 3 :  
 「誤嚥リスクを低減！お口を洗うジェルで水を使わない口腔ケア」  
 角 保徳 (国立長寿医療研究センター 歯科口腔先進医療開発センター)
- ランチョンセミナー 4 :  
 「ヒト型ロボットシミュレーションシステム高齢者モデルの検討」  
 秋山 仁志 (日本歯科大学附属病院総合診療科)
- スウィーツセミナー : 「咀嚼と健康」  
 下山 和弘 (東京医科歯科大学)

演題数 : 240 題 (課題口演 10 題、一般口演 50 題、ポスター発表 153 題、認定医  
 ポスター発表 27 題)

参加者数 : 1,706 名

(2) 研修会・セミナーの開催 (別紙)

- 学会 主催 研修会・セミナー : 1 回開催  
 学会 共催・後援研修会・セミナー : 8 回開催  
 支部 主催・共催研修会・セミナー : 20 回開催  
 歯科衛生士関係 研修会・セミナー : 1 回開催

2. 学会機関誌及びその他の出版物の刊行

- ・日本老年歯科医学会機関誌「老年歯科医学」第 30 巻 1～4 号の発行  
 総説、原著、臨床報告、調査報告、教育ノート、ケアノート、紹介 等
- ・日本老年歯科医学会公式英文誌「Gerodontology」  
 Volume 32, Issue 2～Volume 33, Issue 1 の発行
- ・老年歯科医学用語辞典 第 2 版の刊行
- ・老年歯科医学 教育基準の編纂
- ・認知症患者の歯科的対応および歯科治療のあり方 : 学会の立場表明の公表
- ・認知症患者の歯科治療に対する疑問と問題点 : Clinical Question 調査からの公表
- ・「老年歯科医学」(医歯薬出版 発行) の編集協力

3. 高齢者の歯科医療及び健康に関する認定医の養成並びに認定

(1) 認定医、専門医、指導医 (認定制度/専門医制度)、研修機関 (認定医制度/専門医制度)、摂食機能療法専門歯科医師の認定、公益社団法人日本歯科衛生士会への認定歯科衛生士の推薦

- |                |      |
|----------------|------|
| ① 認定医          | 26 名 |
| ② 認定医制度指導医     | 2 名  |
| ③ 認定医研修機関      | 5 施設 |
| ④ 専門医          | 6 名  |
| ⑤ 専門医制度指導医     | 0 名  |
| ⑥ 専門医研修機関      | 1 施設 |
| ⑦ 摂食機能療法専門歯科医師 | 7 名  |

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰

(1) 学会功労賞

山根 源之 (東京歯科大学名誉教授)

(2) 優秀奨励論文賞 (ライオンアワード)

原 豪志 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野)

「胃瘻療養中の脳血管障害患者に対する心身機能と摂食状況の調査」

『老年歯科医学』第29巻2号 P.57～65)

村田 尚道 (岡山大学病院スペシャルニーズ歯科センター)

「筋萎縮性側索硬化症における摂食嚥下障害の特徴」

『老年歯科医学』第29巻4号 P.350～356)

(3) 優秀口演賞

大井 孝 (東北大学大学院歯学研究科加齢歯科学分野)

「地域高齢者における最大咬合力と要介護認定に関するコホート研究」

若杉 葉子 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野)

「咀嚼機能評価のための新たな検査の試みー回復期リハビリテーション病院での利用ー」

(4) 優秀ポスター賞

堀部 耕広 (東京歯科大学老年歯科補綴学講座)

「地域在住後期高齢者における低栄養と咀嚼機能低下および嚥下機能低下との関連」

5. 国内外における関連団体との交流

- ・海外の老年関連学会との交流促進、会員への広報ならびに国内の老年関連学会との交流促進、会員への広報を実施した。
- ・日-台老年歯科医学会 合同シンポジウムの企画
- ・日本口腔インプラント学会との共同研究の実施

6. 高齢者の保健・医療の向上の推進

- ・日本歯科医学会プロジェクト研究の実施  
「後期高齢者の口腔機能を改善する診療ガイドラインに関する研究」

7. その他、本法人の目的達成のために必要と認められる事業

- ・広報活動
  - ①ニュースレター (年4回) の発行
  - ②学会ホームページの運用

8. 役員会および各種委員会の開催

(1) 総会

- ① 定時社員総会：平成27年6月13日

(2) 理事会・常任理事会

- ① 第1回：平成27年5月7日 (メール会議)
- ② 第2回：平成27年5月21日 (メール会議)
- ③ 第3回：平成27年6月11日
- ④ 第4回：平成27年7月17日 (メール会議)
- ⑤ 第5回：平成27年9月10日 (メール会議)
- ⑥ 第6回：平成27年11月30日 (メール会議)
- ⑦ 第7回：平成27年12月10日
- ⑧ 第8回：平成28年1月29日 (メール会議)
- ⑨ 第9回：平成28年3月30日 (メール会議)

⑩ 第10回：平成28年3月31日（メール会議）

(3) 各種委員会

法人運営委員会、学術委員会、編集委員会、財務委員会、教育問題検討委員会、社会保険委員会、ガイドライン委員会、在宅歯科医療問題検討委員会、摂食嚥下リハビリテーション委員会、国際渉外委員会、広報・研修委員会、学術用語委員会、歯科衛生士関連委員会、認定制度委員会、認定資格検討委員会、研修機関認定委員会、認定試験実施委員会、専門医試験問題作成委員会、多職種連携委員会、学会間連携委員会、表彰委員会、規程委員会、倫理委員会、倫理審査委員会、支部組織・地域保健医療福祉検討委員会、利益相反委員会 開催。

9. 日本老年学会会議への参加

理事会 : 平成28年1月30日開催

将来計画委員会 : 平成28年1月30日開催

会長候補推薦委員会 : 平成27年12月1日開催

プログラム委員会 : 平成28年1月30日開催

平成28年3月30日開催

以 上